

高知憲法速報

No.266 2011. 8. 19

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

「8・15戦争を語りつくつどい」に110人

高知市人権啓発センターで終戦66周年の集いが開かれ、110人が参加しました。高知近代史研究会会長の公文豪さんが講演し、高知センター合唱団が平和のうたを合唱、高知県教組の畑山書記長が教科書問題について報告しました。公文豪さんが「伊藤博文暗殺事件と日韓併合101年—安重根・幸徳秋水・石川啄木—」と題して行った講演の要旨を紹介します。

1986年野市町で安重根の獄中書としての遺墨が発見された。画家であった小松利宗(元吾)が残したものとみられる。小松はアメリカで川上貞二郎一座の舞台絵を描いたこともあるが、明治40年代に大連で土陽新聞の通信員をしており、安重根の裁判を傍聴し記事を書いた。法廷スケッチも残っている。安重根は1909年10月26日、ハルピン駅で伊藤博文に銃弾7発を発射、そのうち3発が伊藤の腹部に命中、伊藤は30分後に68歳で死亡した。安は1879年今の北朝鮮生まれ、現在韓国では愛国者として敬愛されており、10月26日には大々的な集会もあった。記念館もできている。伊藤暗殺の理由を15項目挙げ、そのトップに閔妃虐殺をあげている。明治初めの征韓論から江華島事件、日朝修好条規、日清戦争、第1次から3次の日韓協約、日露戦争など日本は朝鮮の独立を唱えながら、朝鮮を支配下に置いてきた。伊藤は初代韓国総監であり、皇帝の退位、韓国軍隊解散などもさせている。断指同盟など抗日闘争をしていた安重根は、伊藤博文が来る情報を得て、ハルピンでの行動に出た。すぐに逮捕され裁判の後、1910年3月26日に死刑執行、共同墓地に埋葬された。博識な人物であり、獄中で200ぐらいの書を遺している。この裁判に高知県ゆかりの人物が沢山いる。死刑を求刑した溝渕孝雄検察官は高知市大川筋出身、高知中学校、東大を出て、この時旅順の都督府の検察官として安の取り調べに当たった。もう一人の検察官・安岡静四郎は山北の出身、国選弁護士・水野吉太郎は野市町の出身、もう一人の弁護士・鎌田正治は鳥取の人だが、その後高知市帯屋町で水野と共同事

務所を開き、高知市議、高知県議、県議会議長も務めた。当時の関東都督府高等法院庁・平石氏人も潮江出身の人で「極刑にせよ」との政府の干渉に苦勞している。大逆事件は1910年6月に幸徳秋水らが逮捕され、1911年1月に死刑が執行された。全部のマスコミが日露戦争推進派の中で、幸徳らは敢然として不戦論を唱えた。韓国併合と国内での弾圧が一体だ。石川啄木はこのような中で、大逆罪や朝鮮に触れた歌を詠んだ。

国会軽視の事実上の大連立は許せない

民主党、自民党、公明党の3党幹事長は9日会談し、総選挙で民主党がマニフェストに掲げた子ども手当、高校授業料無償化、農家個別所得保障、高速道路無料化などの主要政策・制度の見直しに合意、「確認書」を取り交わしました。国会をないがしろにした3党合意＝「大連立」が事実上発動することになります。震災復興財源についても協議することになっています。共同で悪政を推進する姿が浮き彫りになり、延長上に懸案である国会議員定数削減があることは明らかです。

一方民主党の仙石由人代表代行(官房副長官)、古川元久元官房副長官、自民党の鴨下一郎政調会長代理、西村康稔氏らは9日、両党議員による社会保障や医療政策の一致点を探る「勉強会」として「健康政策研究会」を結成しました。

中山太郎前衆院議員・憲法緊急事態条項試案公表

中山太郎前自民党衆院議員・前衆院憲法調査会長は5日、大規模な自然災害で、首相が緊急事態を宣言する規定、自治体首長への指示権、財政支出権限、国民の通信の自由・居住及び移転の自由・財産権などの私権の制限など4カ条11項目の試案を公表しました。

日弁連人権擁護大会プレシンポジウム 9・10

日時;9月10日(土)13:00~16:00

会場;高知県人権啓発センター 入場無料

シンポジウム;子どもにふさわしい社会になるために
~子どものための社会保障を考える

シンポジスト;コーディネーター 弁護士・中島香織
田中きよむ(高知県立大学社会福祉学部 教授)
大井 琢(日弁連貧困問題対策本部 委員)
藤田早苗(スクールソーシャルワーカー)
岡村啓佐(高知医療生協潮江診療所 事務長)

主催;四国弁護士連合会・高知弁護士会

今月の街頭宣伝署名日程

19日(金)憲法会議5:30、20日(土)九条の会1:30